



故 上田 隆三 初代会長

弔 辞

日本表面科学会会長
清 山 哲 郎

謹んで、本会前会長理事、早稲田大学教授上田隆三先生の御霊に心から哀悼の意を表します。

先生の突然の御逝去の報に接し、驚愕おくあたわざるところでございます。つい半月前の7月16日の本会理事会に元気な姿で御出席になり、本会の順調な成長を喜んでいられたのが強く印象に残っていますが、それが本会とのお別れとなりました。思わざる悲報に、本会会員はもとより、先生を知る学界、業界の方々ともに、痛惜の念深く人の世の無情を感じている次第であります。

顧みますれば、先生は昭和17年早稲田大学理工学部を卒業され、大阪大学理学部、小林理学研究所などを御歴任され、その後母校早大の教授として迎えられ、物性物理学の研究ならびに教育に努められ、その間多くの研究業績をあげられ、また幾多の俊秀を育てられました。とりわけ本学会においては学会設立の発起以来その実現に先頭に立って奔走され昭和54年9月学会発足とともに推されて初代会長を勤められ、本学会の運営に尽力され、学会の基礎を固められたことは、忘れることの出来ない御功績であります。この先生の御尽力に対し、本学会では名誉会員として長く先生の御功績をたたえることになりましたが、御逝去の悲報は誠に残念でございます。

先生はまた、その卓越した独創性と豊かな国際性から、昭和53年世界にさきがけて、固体薄膜と表面に関する国際会議を創設され、我国先端産業の基礎としてのこの学問分野に残された足跡は誠に大なるものがあります。この会議はその後米国で引継がれ、さらに今月末には第3回がオーストラリアで開催されることになっており、先生の御活躍が期待されておりました。

不幸にして、先生は突如としてご発病になりご家族の手厚いご看護にもかかわらず、8月1日ついに帰らぬ人となられました。御遺族の御痛恨察するに余りあるものがあり、お慰めの言葉もありません。われわれ一同ただただ追悼の念極まりないのであります。

ここに先生の生前の御功績をたたえとともに謹んで御冥福をお祈りして弔辞といたします。